

## Check!

清掃箇所図

**プラテンローラ**

ノンセパラベル使用の場合は清掃はしない!

**用紙センサ(下側)**

**清掃目安**

用紙1巻おきの清掃をおすすめします。

**用紙センサ(上側)**

**サーマルヘッド**

**(重要) 清掃を行う前には必ず電源を切り、ラベルを外してから行ってください!!**

### 1 オープンカバーを開けラベルを取り除く

カバー開閉レバーを矢印の方向にスライドさせ、オープンカバーを開けてラベルを取り除きます。

### 2 サーマルヘッドを清掃する Check!

新しいウエスにプリンタ清掃液を染み込ませ、サーマルヘッドを清掃します。

### 3 プラテンローラを清掃する Check!

ノンセパラベル使用の場合 清掃はしない!

ノンセパラベル使用の場合 清掃の必要はありません。又清掃液は絶対に使用しないで下さい。  
ノンセパラベルを使用の場合でプラテンローラを清掃すると清掃後プラテンローラにラベルが巻き込まれる可能性があります。

ノンセパラベル以外を使用の場合 ウェスにプリンタ清掃液を染み込ませ、プラテンローラを手で回しながら清掃します。

### 4 用紙センサ(上側)を清掃する Check!

ウェスにプリンタ清掃液を染み込ませ、2箇所用の紙センサ(上側)を清掃します。精密部品の為、汚れをふき取る程度で構いません。

### 5 用紙センサ(下側)を清掃する Check!

ウェスにプリンタ清掃液を染み込ませ、用紙センサ(下側)を清掃します。精密部品の為、汚れをふき取る程度で構いません。

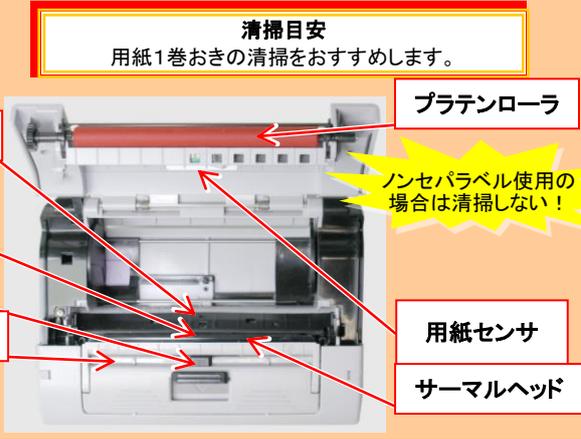
### 6 ノンセパラベルの作業終了時の注意点 Check!

作業終了時には必ずオープンカバーを開けて作業を終了してください。プラテンローラとラベルのノリ部分が密着したまま、放置しておく翌日の業務開始時にラベルがくっついたまま、プラテンローラに巻き込まれる可能性があります。

## Check!

清掃箇所図

- 用紙センサ(下側)
- ハクリローラ
- ハクリセンサ
- ハクリユニットの溝



## 1 ハクリユニットを持ち上げ、スライドさせる



電源が切れている事を確認した後、ハクリユニットを上を持ち上げながら、連続発行モードの位置にスライドさせます。

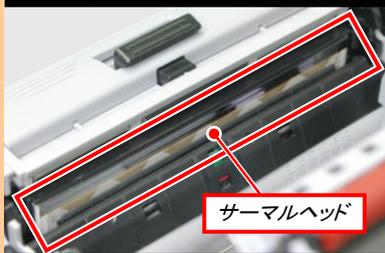
**(重要) 清掃を行う前には必ず電源を切り、ラベルを外してから行ってください!!**

## 2 オープンカバーを開けラベルを取り除く



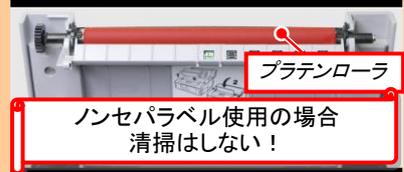
カバー開閉レバーを矢印の方向にスライドさせ、オープンカバーを開けてラベルを取り除きます。

## 3 サーマルヘッドを清掃する Check!



新しいウエスにプリンタ清掃液を染み込ませ、サーマルヘッドを清掃します。

## 4 プラテンローラを清掃する Check!



ノンセパラベル使用の場合 清掃の必要はありません。又清掃液は絶対に使用しないで下さい。

ノンセパラベルを使用の場合にプラテンローラを清掃すると清掃後プラテンローラにラベルが巻き込まれる可能性があります。

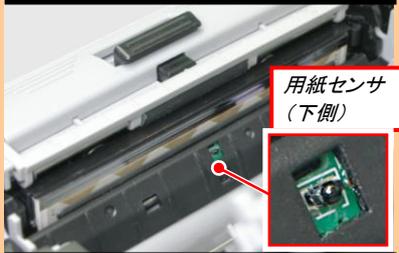
ノンセパラベル以外を使用の場合 ウェスにプリンタ清掃液を染み込ませ、プラテンローラを手で回しながら清掃します。

## 5 用紙センサ(上側)を清掃する Check!



ウェスにプリンタ清掃液を染み込ませ、2箇所用の紙センサ(上側)を清掃します。精密部品の為、汚れをふき取る程度で構いません。

## 6 用紙センサ(下側)を清掃する Check!



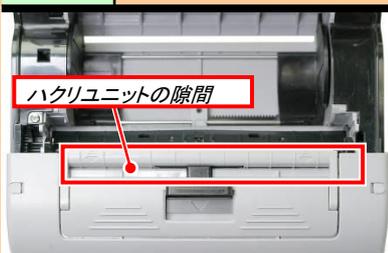
ウェスにプリンタ清掃液を染み込ませ、用紙センサ(下側)を清掃します。精密部品の為、汚れをふき取る程度で構いません。

## 7 ハクリローラを清掃する Check!



ウェスにプリンタ清掃液を染み込ませ、ハクリローラを手で回しながら清掃します。

## 8 ハクリユニットの隙間を清掃する Check!



綿棒にプリンタ清掃液を染み込ませ、ハクリユニットの隙間を清掃します。綿棒は市販のもので構いません。

## 9 ハクリセンサを清掃する Check!



綿棒にプリンタ清掃液を染み込ませ、カバー開閉レバーを矢印の方向にスライドさせながら、ハクリセンサを清掃します。精密部品の為、汚れをふき取る程度で構いません。

## 10 ノンセパラベルの作業終了時の注意点



作業終了時には必ずオープンカバーを開けて作業を終了してください。プラテンローラとラベルのノリ部分が密着したまま、放置しておくと翌日の業務開始時にラベルがくっついたまま、プラテンローラに巻き込まれる可能性があります。